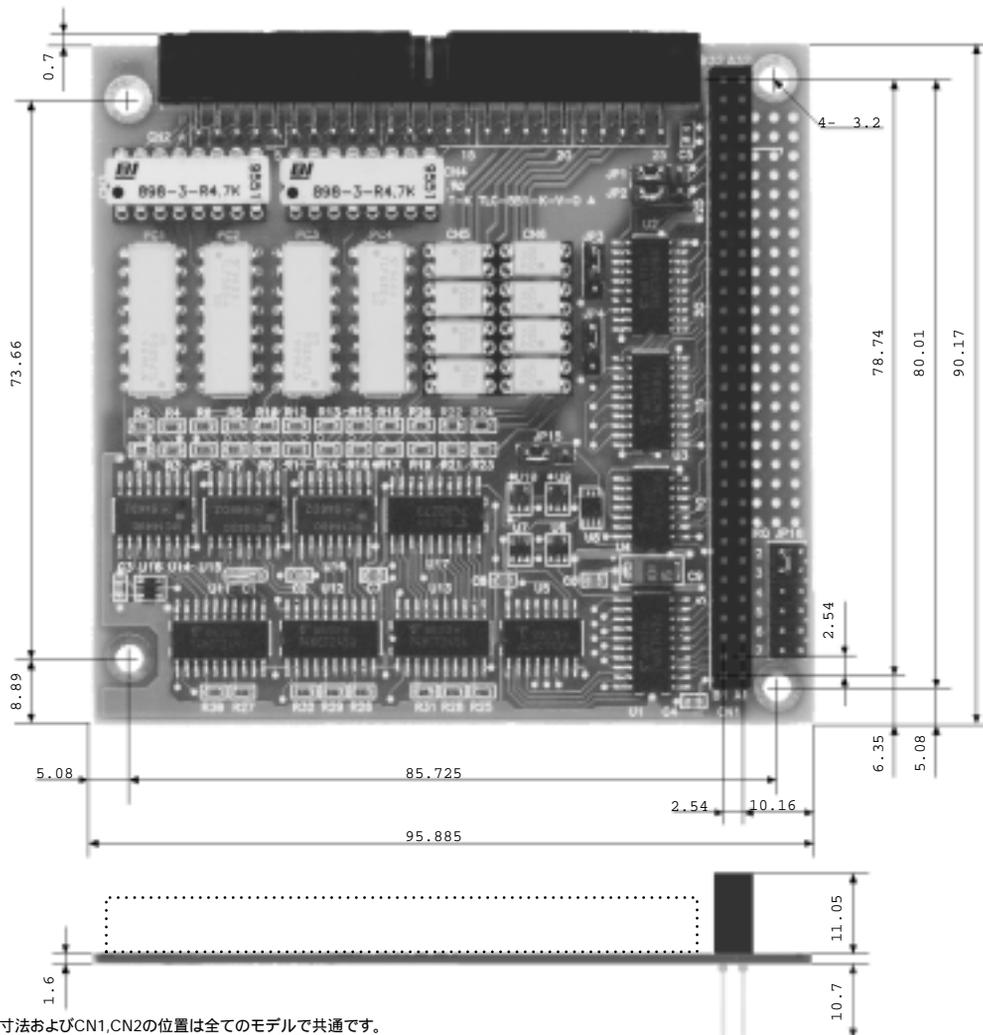


HT2010/20/30 24CH Opto-Isolated I/O



RoHS指令適合



写真はHT2030-P24です。基板寸法およびCN1,CN2の位置は全てのモデルで共通です。
写真はほぼ原寸大です。(寸法線には正しい数値を示してあります。寸法の単位はmmです。)

チャタリング除去回路搭載

入力にはデジタル方式のチャタリング除去回路を搭載していますので、ソフトウェアの負担が軽くなります。時定数は全チャンネル分をコンデンサ1個の交換で変更できます。

大電流ドライブ可能なフォトリレー出力

搭載のフォトリレーは、最大DC0.5A(25以下)の負荷が駆動できます。出力デバイスはソケットに実装されていますので、万一損傷を受けた場合でも交換が容易です。

無極性入力(HT2010/2030)

入力には赤外LEDが逆並列接続されたタイプのフォトカプラを使用しているため、無極性となっています。また各ビットは完全に独立していますから複数の異なった電圧システム間のインターフェースにも使用できます。

出力ラッチの読み出し可能

出力したデータは同じアドレスで読み出しできますので、特定のビットのみを操作するソフトウェアを作成する場合、出力したポートのビットパターンをメモリに保存しておく必要がありません。

主な仕様

製品名	HT2010	HT2020	HT2030
入力	フォトカプラ TLP620-4(東芝) チャタリング除去時間 約6ms		
入力チャンネル数	24(各CH独立)	-	16(各CH独立)
出力	DCフォトリレー TLP225A(東芝) 最大ドライブ電流0.5A(Ta 25) 0.3A(Ta 60) 阻止電圧 DC60V(48V以下での使用を推奨)		
出力チャンネル数	-	24(各CH独立)	8(各CH独立)
I/Oアドレス	0100H ~ 013FH内に4バイト単位で設定可能		
占有I/Oアドレス	4バイト		
基板外形サイズ	90.2 × 95.9 × 15.2mm		
電源電圧	5V ± 10%		
消費電流(Typ.)	14mA (全入力アクティブ)	340mA (全出力アクティブ)	125mA (全入出力アクティブ)
動作温度範囲	-20 ~ 70		

各製品には、入力電流制限抵抗値やドライバ素子の有無に応じてサフィックスが付けられています。詳細については最終ページをご参照ください。

テクニカルノート

入出力の論理レベル

入力ポートは、フォトカブラがオンのビットは0、オフのビットは1として読み出されます。出力ポートのフォトカブラは、0を書き込んだビットがオフ、1を書き込んだビットがオンになりますのでご注意ください。出力ポート読み出し時は、書き込み内容がそのまま読み出されます。

入力電流制限抵抗

HT2010/HT2030のフォトカブラの入力電流制限抵抗モジュールは、任意の電圧範囲入力用に交換することができます。この場合、入力電流は4mA以上となるよう抵抗値を選択してください。また、抵抗モジュールの全ての素子に電流が流れる場合でも、抵抗の許容損失範囲内となるようにしてください。

割り込み

HT2010ではPC7、HT2030ではPB7の入力で割り込みを発生することができます。JP15でエッジの選択、JP16で割り込みチャンネル(IHQ2~7)の選択を行います。出荷時には割り込みは使用しない設定となっています。IRQx出力は、割り込み処理ルーチンで割り込み出力クリア用ポートアドレスを読み出しするまで保持されます。なおIRQx出力はワイアードアードできませんのでご注意ください。

チャタリング除去時間

フォトカブラ入力回路には、デジタル積分方式のチャタリング除去回路が搭載されています。出荷時は約6msに設定されていますが、C1によりこの時間を変更することができます。設定時間(s) = C1(uF)/0.375で計算されます。チャタリングのない比較的高速の信号を扱う場合は、C1を取り除いてください。C1と並列に100pFのコンデンサが配線されており、このときチャタリング除去時間は約0.3msとなります。

リセット時の状態

HT2010およびHT2030の割り込み出力はリセットによりクリアされます。また、HT2020/HT2030の出力は全てオフとなります。

出力用デバイス

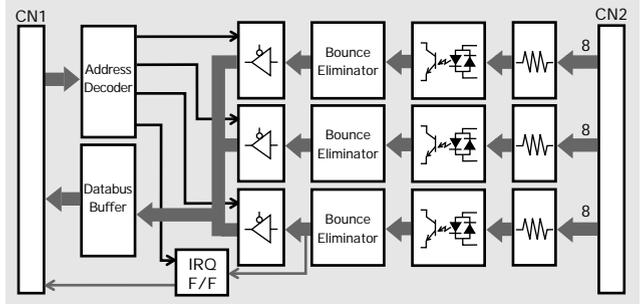
出力用デバイスはソケットに実装されていますので、パッケージがDIP4ピン相当のフォトランスタカブラ(東芝TLP521やTLP627等)やフォトトライアックカブラ(東芝TLP525G等)、AC用フォトリー(東芝TLP227等)などに交換して使用することができます。なお、HT2020/HT2030に使用しているフォトリー(TLP225A)はDC用のため、極性がありますのでご注意ください。

使用温度環境

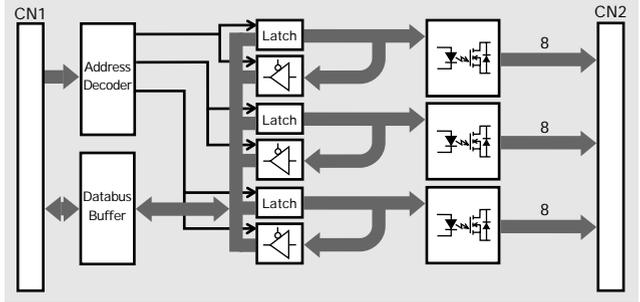
出力フォトカブラは、チャンネルあたり最大0.1W(300mAドライブ時の損失)があります。また入力電流制限抵抗は、チャンネルあたり最大0.12W(24V入力時の損失)がありますので、筐体への組み込みの際はこれらの発熱による温度上昇を考慮してください。

ブロック図

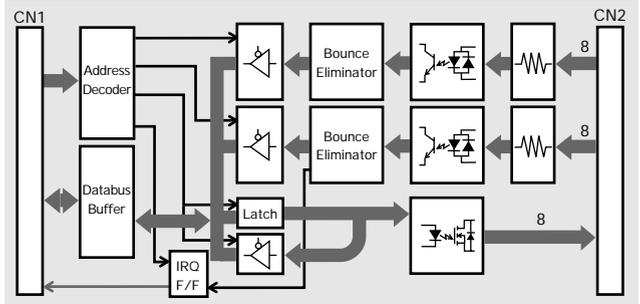
HT2010



HT2020

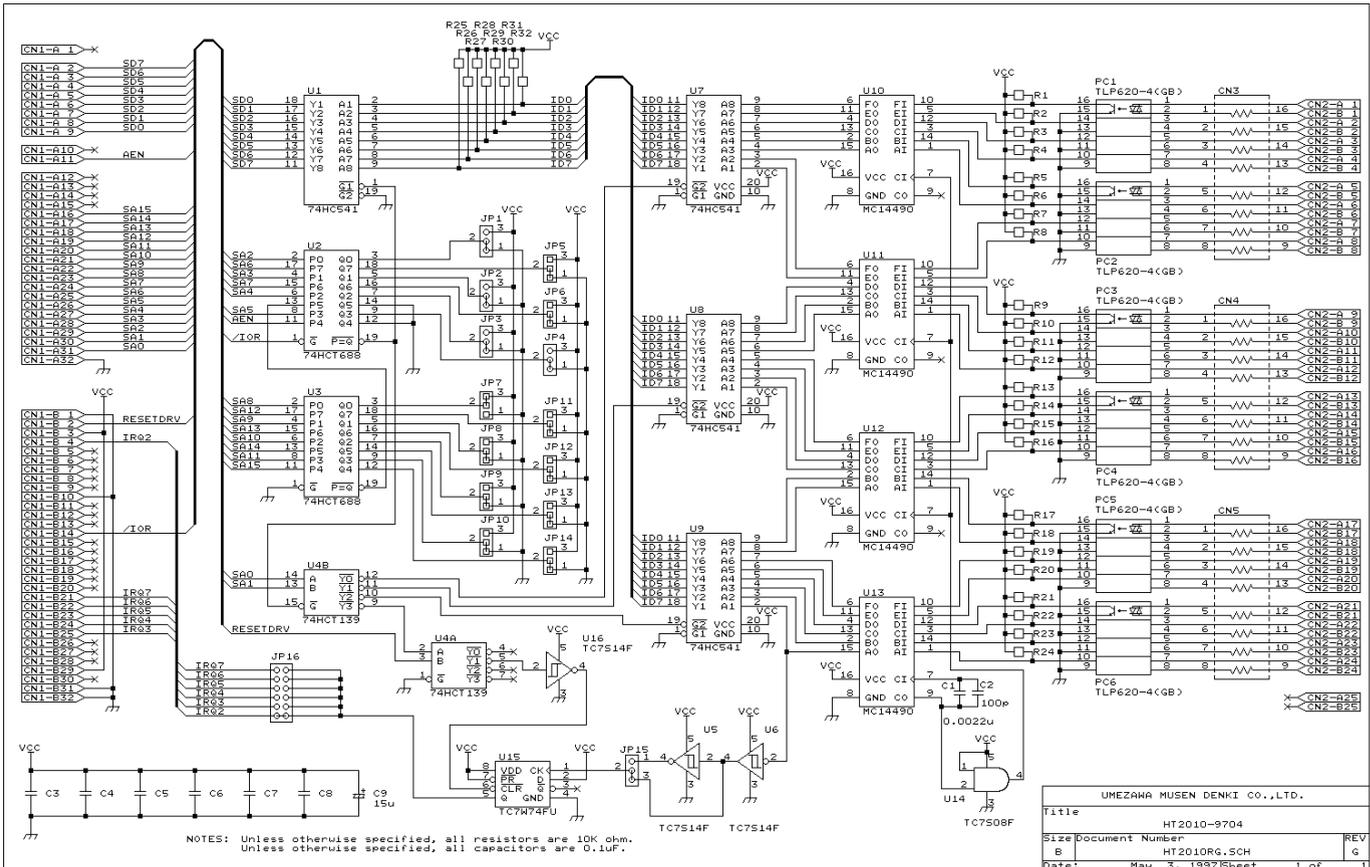


HT2030



回路図

HT2010



HT2010には、入力電圧仕様に応じて右表の値の抵抗モジュールが付属します。CN3,4,5に実装してご使用ください。

モデル	入力電圧仕様	CN3,4,5に実装される抵抗
HT2010-P05	5V(±15%)	1K
HT2010-P12	12V(±15%)	2.2K
HT2010-P24	24V(±15%)	4.7K

コネクタ

CN1	CPUバス	64極スタッキング	8ビットPC/104規格準拠の信号配列です。
CN2	入出力	50極BOXピンヘッド	絶縁入出力信号接続用の端子です。リボンケーブルを接続できます。

CN2コネクタピン配列

HT2010				HT2020				HT2030							
機能	ピン	ピン	機能	機能	ピン	ピン	機能	機能	ピン	ピン	機能	機能	ピン	ピン	機能
PA0 INA	A1	1 2	B1 PA0 INB	PA0 OUT-	A1	1 2	B1 PA0 OUT+	PA0 INA	A1	1 2	B1 PA0 INB	PA0 OUT-	A1	1 2	B1 PA0 INB
PA1 INA	A2	3 4	B2 PA1 INB	PA1 OUT-	A2	3 4	B2 PA1 OUT+	PA1 INA	A2	3 4	B2 PA1 INB	PA1 OUT-	A2	3 4	B2 PA1 INB
PA2 INA	A3	5 6	B3 PA2 INB	PA2 OUT-	A3	5 6	B3 PA2 OUT+	PA2 INA	A3	5 6	B3 PA2 INB	PA2 OUT-	A3	5 6	B3 PA2 INB
PA3 INA	A4	7 8	B4 PA3 INB	PA3 OUT-	A4	7 8	B4 PA3 OUT+	PA3 INA	A4	7 8	B4 PA3 INB	PA3 OUT-	A4	7 8	B4 PA3 INB
PA4 INA	A5	9 10	B5 PA4 INB	PA4 OUT-	A5	9 10	B5 PA4 OUT+	PA4 INA	A5	9 10	B5 PA4 INB	PA4 OUT-	A5	9 10	B5 PA4 INB
PA5 INA	A6	11 12	B6 PA5 INB	PA5 OUT-	A6	11 12	B6 PA5 OUT+	PA5 INA	A6	11 12	B6 PA5 INB	PA5 OUT-	A6	11 12	B6 PA5 INB
PA6 INA	A7	13 14	B7 PA6 INB	PA6 OUT-	A7	13 14	B7 PA6 OUT+	PA6 INA	A7	13 14	B7 PA6 INB	PA6 OUT-	A7	13 14	B7 PA6 INB
PA7 INA	A8	15 16	B8 PA7 INB	PA7 OUT-	A8	15 16	B8 PA7 OUT+	PA7 INA	A8	15 16	B8 PA7 INB	PA7 OUT-	A8	15 16	B8 PA7 INB
PB0 INA	A9	17 18	B9 PB0 INB	PB0 OUT-	A9	17 18	B9 PB0 OUT+	PB0 INA	A9	17 18	B9 PB0 INB	PB0 OUT-	A9	17 18	B9 PB0 INB
PB1 INA	A10	19 20	B10 PB1 INB	PB1 OUT-	A10	19 20	B10 PB1 OUT+	PB1 INA	A10	19 20	B10 PB1 INB	PB1 OUT-	A10	19 20	B10 PB1 INB
PB2 INA	A11	21 22	B11 PB2 INB	PB2 OUT-	A11	21 22	B11 PB2 OUT+	PB2 INA	A11	21 22	B11 PB2 INB	PB2 OUT-	A11	21 22	B11 PB2 INB
PB3 INA	A12	23 24	B12 PB3 INB	PB3 OUT-	A12	23 24	B12 PB3 OUT+	PB3 INA	A12	23 24	B12 PB3 INB	PB3 OUT-	A12	23 24	B12 PB3 INB
PB4 INA	A13	25 26	B13 PB4 INB	PB4 OUT-	A13	25 26	B13 PB4 OUT+	PB4 INA	A13	25 26	B13 PB4 INB	PB4 OUT-	A13	25 26	B13 PB4 INB
PB5 INA	A14	27 28	B14 PB5 INB	PB5 OUT-	A14	27 28	B14 PB5 OUT+	PB5 INA	A14	27 28	B14 PB5 INB	PB5 OUT-	A14	27 28	B14 PB5 INB
PB6 INA	A15	29 30	B15 PB6 INB	PB6 OUT-	A15	29 30	B15 PB6 OUT+	PB6 INA	A15	29 30	B15 PB6 INB	PB6 OUT-	A15	29 30	B15 PB6 INB
PB7 INA	A16	31 32	B16 PB7 INB	PB7 OUT-	A16	31 32	B16 PB7 OUT+	PB7 INA	A16	31 32	B16 PB7 INB	PB7 OUT-	A16	31 32	B16 PB7 INB
PC0 INA	A17	33 34	B17 PC0 INB	PC0 OUT-	A17	33 34	B17 PC0 OUT+	PC0 INA	A17	33 34	B17 PC0 INB	PC0 OUT-	A17	33 34	B17 PC0 INB
PC1 INA	A18	35 36	B18 PC1 INB	PC1 OUT-	A18	35 36	B18 PC1 OUT+	PC1 INA	A18	35 36	B18 PC1 INB	PC1 OUT-	A18	35 36	B18 PC1 INB
PC2 INA	A19	37 38	B19 PC2 INB	PC2 OUT-	A19	37 38	B19 PC2 OUT+	PC2 INA	A19	37 38	B19 PC2 INB	PC2 OUT-	A19	37 38	B19 PC2 INB
PC3 INA	A20	39 40	B20 PC3 INB	PC3 OUT-	A20	39 40	B20 PC3 OUT+	PC3 INA	A20	39 40	B20 PC3 INB	PC3 OUT-	A20	39 40	B20 PC3 INB
PC4 INA	A21	41 42	B21 PC4 INB	PC4 OUT-	A21	41 42	B21 PC4 OUT+	PC4 INA	A21	41 42	B21 PC4 INB	PC4 OUT-	A21	41 42	B21 PC4 INB
PC5 INA	A22	43 44	B22 PC5 INB	PC5 OUT-	A22	43 44	B22 PC5 OUT+	PC5 INA	A22	43 44	B22 PC5 INB	PC5 OUT-	A22	43 44	B22 PC5 INB
PC6 INA	A23	45 46	B23 PC6 INB	PC6 OUT-	A23	45 46	B23 PC6 OUT+	PC6 INA	A23	45 46	B23 PC6 INB	PC6 OUT-	A23	45 46	B23 PC6 INB
PC7 INA	A24	47 48	B24 PC7 INB	PC7 OUT-	A24	47 48	B24 PC7 OUT+	PC7 INA	A24	47 48	B24 PC7 INB	PC7 OUT-	A24	47 48	B24 PC7 INB
-	A25	49 50	B25 -	-	A25	49 50	B25 -	-	A25	49 50	B25 -	-	A25	49 50	B25 -

I/Oアドレス

HT2010/2020/2030では、アドレスはSA[15:6]が0000000100Bに固定されており、SA[5:2]をJP1から4で選択します。SA[1:0]の組合せにより選択されるポートについては表1をご参照ください。出荷時にはアドレス0100Hからに設定されています。固定されているSA[15:6]についても、JP5から14のパターンカットおよびショートによって任意に変更できます。

表1 I/Oアドレス割り当て

設定アドレス	HT2010	HT2020	HT2030
+0	PA[7:0]データ入力	PA[7:0]データ入出力	PA[7:0]データ入力
+1	PB[7:0]データ入力	PB[7:0]データ入出力	PB[7:0]データ入力
+2	PC[7:0]データ入力	PC[7:0]データ入出力	PC[7:0]データ入力
+3	割り込み出力クリア	-	割り込み出力クリア

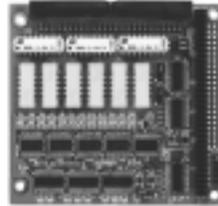
JP1から4の設定で選択可能なI/Oアドレスは表2をご参照ください。各JP1にはシルクで印がつけられており、この印がある側にジャンパソケットを取付けた場合に0を設定したことになります。

表2 JP1 - JP4設定とI/Oアドレス

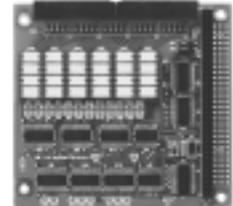
JP4	JP3	JP2	JP1	I/Oアドレス範囲	JP4	JP3	JP2	JP1	I/Oアドレス範囲
0	0	0	0	100H ~ 103H	1	0	0	0	120H ~ 123H
0	0	0	1	104H ~ 107H	1	0	0	1	124H ~ 127H
0	0	1	0	108H ~ 10BH	1	0	1	0	128H ~ 12BH
0	0	1	1	10CH ~ 10FH	1	0	1	1	12CH ~ 12FH
0	1	0	0	110H ~ 113H	1	1	0	0	130H ~ 133H
0	1	0	1	114H ~ 117H	1	1	0	1	134H ~ 137H
0	1	1	0	118H ~ 11BH	1	1	1	0	138H ~ 13BH
0	1	1	1	11CH ~ 11FH	1	1	1	1	13CH ~ 13FH

製品外観

HT2010

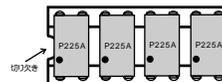


HT2020



出力用デバイスの取り付け

出力用デバイスはDIP ICソケット上に実装します。切り欠きの位置に注意し、下図のように取付けしてください。(フォトカプラ用ソケットの実装方向は、一列ずつ逆になっていますのでご注意ください。)



製品構成

HT2010 Opt-Isolated 24bit入力

HT2010-P05 5V用抵抗付	¥ 9,800
HT2010-P12 12V用抵抗付	¥ 9,800
HT2010-P24 24V用抵抗付	¥ 9,800

HT2020 Opt-Isolated 24bit出力

HT2020-P24 フォトリレー付	¥ 9,800
HT2020-U00 出力デバイス無し	¥ 7,200

HT2030 Opt-Isolated 16bit入力/8bit出力

HT2030-P05 入力: 5V用抵抗 出力: フォトリレー付	¥ 9,800
HT2030-P12 入力: 12V用抵抗 出力: フォトリレー付	¥ 9,800
HT2030-P24 入力: 24V用抵抗 出力: フォトリレー付	¥ 9,800
HT2030-U00 入力抵抗・出力デバイス無し	¥ 8,600

すべてのモデルに、ボード固定用のスタッド・ビスナット4組が付属します。

安全に関する注意事項



本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

取扱店



梅澤無線電機株式会社

東京営業部 101-0044 東京都千代田区錦糸町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494
 仙台営業部 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882
 札幌営業部 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515
 ホームページ URL <http://www.umezawa.co.jp/>

技術的なお問い合わせは
 技術部直通 TEL/FAX



0120-024768